

## 人事委員会議事録（第1682回）

### 1 開催日時

令和4年4月13日（水）15：15～16：20

### 2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

### 3 会議に出席した者

委員	田中基康	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	古川卓哉	事務局長
	西谷智子	任用課長
	井上博尊	給与課長
	中原恵子	任用課副課長兼給与課副課長

## 開 会

### 第1号議案

#### 議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1680回及び第1681回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

### 第2号議案

#### 行政A（大卒程度）・資格免許職採用試験（令和4年度）実施要綱決定の件

任用課長が標記要綱（案）を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

保健師において、一方の区分で不合格となったが、異なる区分の合格者よりも高得点だった場合、異なる区分の第一希望者より優先して合格になるのか。

（事務局）

申込時に異なる区分での合格を希望するかを確認している。最終合格者は、その区分の第一希望者の中から決定するが、最終合格予定数を確保できない場合は、もう一方の区分の不合格者の中から不足分を充当する。

（委員）

採用候補者名簿はどのように記載するのか。第一希望の区分での合格者よりも得点が高い異なる区分の不合格者が名簿に登載され、順位が逆転する可能性があるのでは。

（事務局）

第一希望の区分で合格した者を優先して名簿に登載し、得点順が入れ替わる場合は、備考欄にその旨記載することを想定している。

(委員)

保健師を一つの区分で募集し、人事交流等で対応することはしないのか。

(事務局)

以前任命権者と相談した結果、一般と警察では業務内容が大きく異なり、採用後にミスマッチが生じる可能性があり断念した経緯がある。

(委員)

異なる区分での採用を希望する者はどれくらいいたのか。

(事務局)

昨年度は、申込者の過半数が希望していた。

(委員)

行政A事務系職種は若手面接の点数が最終合格決定に反映されていないことに対する合理的な説明が必要ではないか。

(事務局)

事務系職種は面接対象者が多いので、筆記試験、第1次面接試験、最終面接試験というステップを踏み選考し、若手面接の得点は第1次面接試験の合格者決定時に反映されている。技術系職種は、より実務的な能力を確認する観点から、最終合格者の決定時に若手面接の得点を考慮している。

(委員)

民間企業でも、採用時には若手職員の意見を聞いている。若手職員の意見を積極的に取り入れていただきたい。

(委員)

論文試験の問題は、行政Aは事務系、技術系ともに共通問題としているが、資格免許職は医療系の問題としている。技術系職種も、職種ごとに異なる問題にしないのか。

(事務局)

行政Aは、幅広い切り口から論述できるテーマを題材に各職種の観点で対応できる課題にしている。資格免許職は、主に病院勤務の職種であり、医療系のテーマを題材にしている。

### 第3号議案

#### 獣医師採用選考試験（令和4年度）実施要綱決定の件

任用課長が標記要綱（案）を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

(委員)

受験者の交通費等を助成する制度はないのか。福岡会場を設置しても、鹿児島大学の学生は福岡まで出るのに費用がかかる。

(事務局)

助成は行っていないが、少しでも負担を減らすため、獣医学部を設置している大学

の近辺に会場を設けている。

#### **報告事項 1**

##### **行政Bガイダンス（第2回）の開催結果**

任用課長が、3月28日に実施した標記ガイダンスの開催結果を報告した。

（委員）

第1回ガイダンスの参加者も参加していたのか。

（事務局）

主なターゲットは高校2年生を想定していたが、2回とも参加した者もいた。

（委員）

今回の参加者が次回のガイダンスにも参加すれば、効果があったということである。

#### **報告事項 3**

##### **任命権者が行った処分**

任用課長が、知事が行った1件の懲戒処分の内容及び理由を説明した。

**閉 会**